

2011 年度 入学 試験 問題

国 語

(試験時間 13:15~14:15 60分)

1. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
2. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
3. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
4. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
5. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、電算処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。
6. 設問文にある点数は、満点が100点となるような配点表示になっていますが、国文学専攻の配点は150点に換算されます。

— 次の文章を読んで、後の間に答えなさい。(50点)

リベラリズムとは、個人の自由をもつとも重要な価値とみなす理念です。個人の自由とは、人それぞれの欲望や理想やシンジヨウをさまざまな制約から解放して実現しようというものです。

それは、何よりもまず、外的な強制をきらいます。したがって、全体主義体制や独裁体制、専制君主制などをまずもって攻撃します。そのうえで、それでも、各人の自由が制限されうるとすれば、それは、基本的に、他人の自由をシンパンするかぎりにおいてです。言い換えれば、リベラリズムとは、まず第一に、個人の行動や思想・シンジヨウなどを、権力によって強制されることに抵抗し、さらに、個人の自由が相互に平等に尊重されるべきことを主張するわけです。

ただ、ここで述べたいことは、このリベラリズムの考え方には、⁽³⁾大きな問題が含まれているということです。というのも、リベラリズムは、価値判断はしないという。価値は、あくまで個人の選択の問題だという。にもかかわらず、個人の自由をもつとも重要な価値とみなす、⁽⁴⁾という価値判断を行っているわけです。自分たちの⁽⁴⁾いっていることがひとつの価値判断になってしまっているのです。

ところが、彼らは、リベラリズムそのものがひとつの価値判断であるということに気づいていない。実際にはこの世にはリベラリズムという考え方そのものに (5) 人々もいるのです。たとえばイスラム教の原理主義者たちは、リベラリズムそのものを必ずしも認めません。彼らは、リベラリズムそのものが、西欧の思想史的な伝統のなかからでてきたもので、きわめてアメリカ的な価値だと主張する。たしかにリベラリズムはあたかも普遍的、客観的な議論をしているようにみえるけれども、その普遍性、客観性そのものが西欧の特殊な条件のもとで生み出されたものである、ということになるのです。

一方でリベラリズムがあつて、他方で原理主義がでてくる。この両者が対立したときに、それを回避するような究極的な回答はないのですが、何か考えるための糸口があるとすれば、リベラリズムそのものが西欧文化の産物である⁽⁶⁾と考えるしかないと思⁽⁷⁾うのです。そして、リベラリズムの普遍性そのものも特殊な状況でしか成立しない。普遍性⁽⁷⁾というけれども、それは括弧⁽⁷⁾つきの

「普遍性」にすぎない。もし西欧文化が世界に広がれば普遍的になるけれども、広がらなければ決して普遍的にはならない。このように捉える以外にはありません。

もちろん、西欧からでてきたから非西欧世界には適用できない、という理由はありません。自由や民主主義それ自体を至上の価値とするのではなくて、人間が生きる社会を構成するうえでの、きわめて弱い(8)な条件というふうに考えれば、それなだけで大きな意味があると思います。あらゆる人が普遍的に実現すべき至上の価値だと考えるのではなくて、多くの人がそのなかで生活していくための基本的な枠組みだと考える。自由や民主主義は、それによって、人々が共同して何か優れたものを作り出し、できるだけよい生活をするための条件なのです。

しかも、自由や民主主義は、普遍的な価値という言葉で表現されるのではなくて、自由や民主主義にあたるものはそれぞれの文化のなかで、あるいはそれぞれの社会の歴史や形式のなかで表現されるものであると考える。それを西欧人は自由や民主主義という理念で考えた。イスラムの社会にも自由や民主主義に近い考え方は存在する。しかし、それをイスラム教徒はあくまで、コーランの教えの枠内で神(アッラー)の言葉に関連づけて理解してきたわけです。同じように、東洋思想のなかにもそれに近いものはある。しかし、それを東洋の思想は、仏教や、儒教や、それぞれの国のシュウゾク⁽⁹⁾の枠内に位置づけてきた。

そして、さらに重要なことは、それぞれの文化のなかにはそれぞれ重要だと思われるような価値があつて、それはイスラムの場合にはイスラム教という宗教に従った生活であり、東洋の場合にはまた東洋の宗教と結びついた生き方であり、西欧人にもある種のモデルがある。西欧の価値の基軸になっているのは、やはり、キリスト教文化や古典ギリシャやローマから受けつがれた倫理や規範の意識です。

宗教という言い方がいささか限定されているとすれば、もう少し一般化して、「超越的なもの」といっておきましょう。それぞれの社会には、「超越的なもの」があります。それぞれの社会には、広い意味での宗教、もしくは宗教的なものがあります。そして、それぞれの共同体のもっている歴史や価値から出発するとすれば、それぞれの共同体がもっている超越的なものについて、それなりの敬意もでてくるでしょう。

それぞれの社会が、それぞれの社会に埋め込まれている「超越」というものにたいする敬意をもって、しかも、それが、あからさまに神とかたちをとらないとすれば、神の言葉は、その社会がもっている文化や習慣のなかにしるされているはずなのです。

そういうものにたいする敬意を、私は「義」と表現します。ある社会が (11) に大事に保持してきた価値に敬意を表して、そういう価値にたいして自分を投げ出すという態度を「義」と考えたのです。この「義」というのは、あらゆる社会にあるはずなのです。

かりにアメリカ社会が、個人の自由の観念を (12) な価値とみなしているのであれば、それはアメリカ人が個人の自由という「理想」にたいして「義」をもつということです。それは、イスラム社会では、イスラムの神であるアッラーにたいして自分の人生を捧げることが「義」であるのと、ある意味で対等です。アメリカ人は「個人の自由」にたいして「義」を捧げるのだから、イスラム原理主義者が「アッラー」にたいして「義」を捧げることについても理解できるはずだと、そういうふう考えたほうがいだろうということです。

こういう考え方は、しばしば相対主義といわれますが、私のいいたいことは、必ずしも相対主義ではないのです。おそらく、⁽¹⁴⁾ どの社会も、「(15)」や「絶対的なもの」へいたろうとする手がかりをもっている。しかし、その手がかりは、それぞれの社会に特有のやり方で示されている。それを、ひとつの共通のグローバル・スタンダードに標準化することはできません。この手がかりは、多くの場合、それぞれの社会の伝統や習慣のなかになれば無意識のうちにタイセキされているからです。だから、まずそれぞれの社会がもっている文化なり伝統的なものなかにある知恵とか超越的なものを尊重するということになる。

これは、相対主義というよりも、隠された絶対主義を前提にした「保守主義」といべきものでしょう。保守主義は、「あの世」のことについては絶対的なものを仮想しておき、「この世」においては、相対的だと考える。これはけっしてダブル・スタンダードではなく、⁽¹⁶⁾ みえない「絶対的なもの」があるから、みえる世界では物事は相対化されるのです。ちょうど「神」という絶対的なものを想定しておくから、この世では、人々は、神の前で平等になると同じようなことです。

保守主義を前提におけば、多少はこの対立は和らぎ、正面からの衝突は回避できるのではないでしょうか。

(佐伯啓思『学問の力』による)

〔問一〕 傍線(1)(2)(9)(16)のカタカナを漢字に改めなさい。(楷書で正確に書くこと)

〔問二〕 傍線(3)「大きな問題」の説明としてもっとも適当なものを左の中から選び、符号で答えなさい。

A リベラリズムという価値判断を共有しない人々には、その価値は無意味であること。

B リベラリズムという価値判断そのものに対して、多くの批判的な人々がいるということ。

C リベラリズムは価値判断をしないといながら、実際には判断を他者に押しつけていること。

D リベラリズムはひとつの価値判断でありながら、実際には価値判断をおこなわないこと。

E リベラリズムは個人の自由という価値を尊重するはずなのに、現実にはそれができないこと。

〔問三〕 傍線(4)(6)(10)(14)の語の文法的説明としてもっとも適当なものをそれぞれ左の中から選び、符号で答えなさい。

A 名詞 B 動詞 C 形容詞 D 助動詞 E 助詞 F 副詞

G 連体詞 H 接尾語

〔問四〕 空欄(5)(8)(11)(12)に入れるのにもっとも適当なものをそれぞれ左の中から選び、符号で答えなさい。ただし、同じものを繰り返してはならない。

- A 形式的 B 肯定的 C 絶対的 D 多角的 E 直感的 F 批判的 G 歴史的

〔問五〕 傍線(7)「リベラリズムの普遍性そのものも特殊な状況でしか成立しない」のはなぜか。その理由としてもっとも適当なものを左の中から選び、符号で答えなさい。

- A リベラリズムが西欧文化から生まれたというだけでなく、その価値観が西欧という限定された社会で作られてきたものだから。
- B リベラリズムが西欧文化から生まれたことは確かだが、ある価値観が普遍性を持つという発想自体が西欧文化の中の発想だから。
- C リベラリズムが西欧文化から生まれたという発想を持たないと、一つの思想が普遍的な価値を持つようになった理由を説明できないから。
- D リベラリズムはもともと西欧文化から生まれた思想だが、その歴史がまだ浅いために、普遍性を持つには至っていないから。
- E リベラリズムが西欧文化から生まれたように多くの思想にはその経緯があるため、普遍性を持つこと自体が困難なことだから。

〔問六〕

傍線⑬「私のいいたいことは、必ずしも相対主義ではない」という表現で筆者が述べたいことは何か。もっとも適当なものを左の中から選び、符号で答えなさい。

A こういう考えはそれぞれの社会や文化の差異を強調しているように見えるかもしれないが、実際にはむしろそれぞれの差異が小さなものであることを考えようとしている。

B こういう考えはそれぞれの社会や文化の特性を主張しているように見えるかもしれないが、実際にはむしろそれぞれの背後に普遍性があることを考えようとしている。

C こういう考えは多くの社会や文化の違いをやむを得ないものとしているように見えるかもしれないが、実際にはむしろそれぞれの影響関係を考えようとしている。

D こういう考えはそれぞれの社会や文化の独立性を主張しているように見えるかもしれないが、実際にはむしろその後には隠された影響関係を考えようとしている。

E こういう考えはそれぞれの社会や文化を比較し、その関係性を論じているように見えるかもしれないが、実際にはむしろそれぞれの個性を重視して考えようとしている。

〔問七〕

空欄⑭に入れるのにもっとも適当な七字以内の語句を、本文中から探し出して答えなさい。

〔問八〕 傍線(初)「みえない」「絶対的なもの」があるから、みえる世界では物事は相対化される」の説明としてもっとも適當なものを左の中から選び、符号で答えなさい。

- A 神や宗教といった絶対的な価値を持っているから、現在の世界で起こる出来事は意味のないものとなるということ。
- B それぞれの社会には現在のみえなくなった歴史・伝統の力がはたらいているから、必然的に違いが生じること。
- C どの社会や文化にも背景となる価値観があるから、目にみえるのはそれに比べて表面的な規範に過ぎないということ。
- D 個々の社会の背後にはその差異を超えた価値観が存在しているので、違いがあってもそれを解消できるということ。
- E 現実の人間社会だけに価値を求めていないから、考え方の違いが生じていたとしてもそれを許容できるということ。

〔問九〕 次の文A～Eのうち、本文の筆者の考え方と合致しているものに対してはA、合致していないものに対してはBの符号で答えなさい。

- A 自由や民主主義はそれ自体が必要なのではなく、人々がよりよい生活を生み出すための条件である。
- I ある社会や文化から生まれてきた思想は、他の社会や文化に本来あてはまらない性格を持っている。
- ウ それぞれの社会には伝統に根ざした生き方のモデルがあり、その社会の人々はそのモデルに敬意をはらっている。
- E 今必要な保守主義とは、グローバル・スタンダードにまとめることのできないそれぞれの文化を尊重することである。

二 次の文章を読んで、後の間に答えなさい。(30点)

男君たちは、代明よあきの親王みこの御女みよめのはらに、前少将まかた拳賢けんけん・後少将あしとか義孝よしかたとて、花を折りたまひし君たちの、殿うせたまひて三年ばかりありて、天延二年甲戌きのえいぬの年、砲瘡もがさおこりたるにわづらひたまひて、前少将はあしたにうせ、後少将はゆふべにかくれたまひにしぞかし。一日がうちに二人の子をうしなひたまへり (1) 母北の方の御心地、いかなりけむ、いとこそかなしくうけたまはり (2)。

かの後少将は義孝とぞきこえ (3)。御かたちいとめでたくおはし、としごろきはめたる道心者みちしんぎにぞおはしける。病重くなるままに、生くべくもおぼえたまはざりければ、母上に申したまひけるやう、「おのれ死にはべりぬとも、とかく例のやうにせさせたまふな。しばし法華経誦よみじたてまつらむの本意侍れば、かならずかへりまうで来べし」とのたまひて、方便品ぼんぽんをよみてまつりたまうてぞうせたまひける。

その遺言を母北の方忘れたまふべきにはあらねども、ものもおぼえでおはしければ、思ふに人のしたてまつりてけるにや、枕がへしなにやと、例のやうなるありさまどもにしてければ、えかへりたまはずなりにけり。のちに、母北の方の御夢にみえたまへる、

しかばかりちぎりしものを渡り、川かへるほどにはわするべしやは (6)
とぞよみたまひける、いかにくやししくおぼしけむな。

さて後ほどへて、賀縁阿闍梨がえんあざりと申す僧の夢に、この君たち二人おはしけるが、兄前少将いたうもの思へるさまにて、この後少将はいと心地よげなるさまにておはしければ、阿闍梨、「君は、など心地よげにてはおはする。母上は、君をこそ、兄君よりは (7) いみじう恋ひきこえたまふめれ」と聞こえければ、いとあたはぬさまのけしきにて、 (8)

しぐれとは蓮の花ぞ散りまがふなにふるさとに袖ぬらすらむ
など、うちよみたまひける。

〔大鏡〕による

注 花を折りたまひし……はなやかで美しい容姿でいらつしやつた。

殿……藤原伊尹。天延二年……西曆九七四年。

皴瘡……天然痘。 方便品……法華經二十八品のうちの第二。

枕がへし……死者を北枕にすること。

賀縁阿闍梨……三井寺の僧侶の名。

〔問一〕 空欄(1)(2)(3)には、助動詞「き」が入る。それぞれふさわしい形に活用させたものを解答欄に記入しなさい。

〔問二〕 傍線(4)「ものもおほえでおはしければ」とは、北の方のどのような様子を表現しているか。もっとも適当なものを左の

中から選び、符号で答えなさい。

- A 記憶が不確かな年齢になっている様子
- B 自暴自棄になつて投げやりな様子
- C 他人任せで関知していない様子
- D 葬儀が続いて混乱している様子
- E 悲しみにくくて茫然自失の様子

〔問三〕 傍線(5)「えかへりたまはずなりにけり」を平易な現代文に改めなさい。

〔問四〕 傍線(6)「ちぎりし」とあるが、どのようなことを「ちぎ」ったというのか。もっとも適当なものを左の中から選び、符号で答えなさい。

- A 作法どおりに葬儀を行わないことを
- B 他人に葬儀の準備を任せないことを
- C 自分の夢枕に立ってくれることを
- D かならず極楽往生することを
- E 仏道の儀礼に従った葬送を
- F 法華経読誦の本意貫徹を

〔問五〕 傍線(7)「いとあたはぬさまのけしきにて」とはどのような意味か、もっとも適当なものを左の中から選び、符号で答えなさい。

- A まったく納得のいかない様子で
- B かなりあわてふためいた仕草で
- C とても耐えられない悪天候で
- D 以前とはまるで異なる服装で
- E たいそうすぐれない顔色で

〔問六〕 傍線(8)「しぐれとは蓮の花ぞ散りまがふ」とは、どのようなことを伝えようとしているか。もっとも適当なものを左の

中から選び、符号で答えなさい。

- A 悪いことばかりが続くわけではないということ
- B 自分が極楽にいて満足しているということ
- C 母の涙で自分が救われるということ
- D ちぐはぐな対応をされたこと
- E 仏道が世に行われること

〔問七〕 本文中に、音便の形になっている補助動詞が一つある。そのまま一語で抜き出して答えなさい。

三 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。(設問の都合上、返り点・送り仮名を省いた箇所がある) (20点)

天下之事、知^リ其^ニ已^ル然^ニ、不知^ル其^ニ将^ル然^ニ者、衆人^{ナリ}也。因^リ其^ニ已^ル然^ニ而^テ将^ル然^ニ未^レ然^ニ逆^ル而^テ知^ル之^ヲ、非^ズ深^ク識^ス遠^ク慮^ス者、不^レ能^ハ室^ヲ已^テ焚^テ而^テ徙^ル薪^ヲ、舟^ヲ已^テ溺^レ而^テ市^ノ壺^ヲ、疾^ク已^リ成^ル而^テ求^ム艾^ヲ、雖^モ殫^ク力^ヲ為^ス之^ヲ、無^レ及^ブ矣。今^ニ夫^レ隆^ク然^ク之^ノ堤^ニ有^リ容^レ蟻^ヲ之^ノ穴^ニ、宜^シ若^シ無^ク所^ニ損^{ナフ}。然^レ周^ニ於^テ識^ス者、必^ズ塞^ム而^テ突^レ之^ヲ。慮^ス其^ノ久^ク而^テ必^ズ底^ニ於^テ訐^ム潰^ス故^{ナリ}也。天下之事皆能^ク如^ク是^ノ慮^フ之^ヲ、尚^ホ何^ノ後^ニ患^ム之^ヲ有^{ラン}哉。大抵自^リ古^ノ国家^ノ之^ノ所以^ニ不^レ治^{マツ}、臣子^ノ之^ノ所以^ニ不^レ軌^シ固^ク非^ズ一朝一夕^ノ之^ノ積^ム。良^キ由^リ今日^ニ以^テ某^ノ事^ヲ為^シ小^ノ過^ト而^テ不^レ諫^ム、明日^ニ以^テ某人^ノ為^シ小^ノ罪^ト而^テ不^レ懲^ル、日^々引^キ月^々深^メ、不^レ自^ラ知^ル其^ノ禍^ノ乱^ル之^ヲ成^ル也。故^ニ臣^ノ之^ノ於^テ君^ニ、献^シ可^ク替^フ否^ヲ而^テ不^レ敢^ヘ萌^ス一^ノ毫^ノ姑^ク息^ス之^ノ心^ヲ。

(張養浩『三事忠告』による)

注 衆人……普通の人。 隆然……高く盛り上がっている様子。 誼漬……こわれること。 臣子……臣下。

某事……何か。 某人……誰か。 猷可替否……君主に対して、よいことを進言し、悪いことをいさめること。
一毫……ほんのわずか。

〔問一〕 傍線(1)「不知其將然」は「そのままにしからんとするをしらざる」と読む。これに従って、解答欄の原文に返り点を付けなさい。(返り点以外に何も書かないこと)

〔問二〕 傍線(2)「無_レ及_レ矣。」の解釈としてもっとも適当なものを左の中から選び、符号で答えなさい。

- A ややものたりない。
- B まだどうにかなる。
- C やりすぎではない。
- D もうまにあわない。
- E そこまでやらない。

〔問三〕 傍線(3)「之」の指す内容としてもっとも適当な本文中の一字を左の中から選び、符号で答えなさい。

- A 識
- B 慮
- C 舟
- D 蟻
- E 穴

〔問四〕 傍線(4)「固」の読みを、送り仮名も含めてすべて平仮名で書きなさい。(平仮名以外に何も書かないこと)

〔問五〕

本文の主旨としてもっとも適当なものを左の中から選び、符号で答えなさい。

- A 過剰に見えるほど周到な準備があつてこそ、種々の問題に大胆に対処できるものである。
- B 国の未来を考えて行動する能力を、普通の人にも持たせるように、努力する必要がある。
- C その時々にかかる問題について、後々のことをよく考えた上で対処しなければならない。
- D 懲罰の程度を、一定に保つべきであり、時によつてばらつきや遠慮があつてはならない。
- E たとえその場しのぎであつても、当座の問題をひとつひとつ解決することが重要である。